

# 平成30年度に建設工事で発生した事故事例（飛来物・落下物による事故）

## 【事故概要】

落石防護柵基礎工の施工時に、大口径ボーリングマシンで削孔した穴にモルタルを注入しようとしたところ、注入ホースに小さな亀裂が発生し、モルタルが飛散した。これにより、片側交互規制により通行していた車両2台にモルタルが付着した。

## 【事故原因】

- ・基礎部モルタル打設前の準備作業として、乾燥した配管内に水を通し湿潤状態にするが、当日は外気温が高かったため、準備作業が十分ではなく、小型ポンプ圧送モルタルの流動性が悪かったと想定される
- ・注入ホースが詰まったが、加圧を続けたことによりホースに亀裂が発生し、モルタルが飛散した

## 【改善対策】

- ・ポンプ圧送作業の際には、注入管内に詰まる可能性を考慮し、徐々に圧送して、詰まりがないことを確認しながら行う
- ・作業前点検（機械、器具）は念入りに行う
- ・万一の飛散に備え、防護シートを作業位置前後10m以上設置する

